

平成 31 年度使用教科用図書選定のための資料

学校教育法附則第 9 条教科用図書（一般図書）

岩手県教育委員会

平成31年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（見本）理由書一覧

1 図書名

No.	出版社	書名	該当教科	障がい種	学部・学年等
1	岩崎書店	めくってわかる！ ひとのからだ	理科	視覚障がい	中学部2年 (重複学級)
2	えほんの杜	いろいろ ばあ	図画工作	知的障がい	小学部1年
3	学研	さわって学べる算数図鑑	数学	聴覚障がい	中学部1年 (重複学級)
4	学研	どんどんめくってはっけん！ちきゅうのふしぎ	理科	聴覚障がい	中学部1年 (重複学級)
5	学研	めくってはっけん！にほんちずえほん	社会	病弱	中学部3年 (重複学級)
6	金の星社	おてつだいの絵本	生活	聴覚障がい	小学部5年 (重複学級)
7	講談社	じゃぶじゃぶ じゃぐちくん	生活	知的障がい	小学部1年
8	講談社	なぞる絵本 いま どんな きもち？	生活	肢体不自由	小学部2年 (重複学級)
9	講談社	パンダなりきりたいそう	生活	知的障がい	小学部3年
10	小学館	おはなしデコボコえほん さんびきのこぶた	国語	視覚障がい	小学部2年 (重複学級)
11	小学館	デコボコえほん あか あお きいろ	図画工作	視覚障がい	小学部3年 (重複学級)
12	小学館	デコボコえほん くねくね！	国語	視覚障がい	小学部5年 (重複学級)
13	玉川大学出版部	かずをかぞえる	数学	知的障がい	中学部1年
14	大日本絵画	かわいいてんとうむし	算数	肢体不自由	小学部4年 (重複学級)
15	大日本絵画	ジャングルのおと	国語	肢体不自由	小学部1年 (重複学級)
16	東洋館	くらしに役立つ 家庭	職業・家庭	病弱	中学部2年 (重複学級)
17	のら書店	ことばあそび レストラン	国語	知的障がい	小学部4年
18	福音館	とけいのほん ①	算数	知的障がい	小学部5年
19	ブロンズ新	しごとばシリーズ⑤ もっと・しごとば	職業・家庭	知的障がい	中学部2年
20	ポプラ社	おやこであそぼ あかまる どれかな？	算数	病弱	小学部1年 (重複学級)

2 一般図書選定の理由書（次頁）

## 一般図書選定の理由書

番号	1
----	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	めくってわかる！ ひとのからだ		発行者名	岩崎書店	
図書の内容	<p>本書は、人の体がどのようなはたらきをしているのか、分かりやすく示されており、触って楽しめる図書である。</p> <p>内容は、前半に頭の仕組み、後半は胸や腹の中の仕組みという構成になっている。骨と筋肉、脳、肺などの臓器が色分けされたり、触って形を確かめたりすることができるように工夫されている。さらに目次が、「さあ、たんけんだ！」「大きくすいこんで」「元気をとどける！」など、興味を引き出す見出しになっているなど、見えない体の中を想像することに効果的な図書である。</p>				
対象学年	中学部2年（重複学級）	障がい種別	視覚障がい	該当教科	理科
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、両眼視力が0.04程度の弱視であり、やや視野狭窄もある。知的障がいを有しており、知的発達段階が10歳程度の生徒である。中学部の学習には見通しをもって、落ち着いて取り組んでおり、学習面では、小学校中学年程度の漢字の読み書きができる。また、人の顔を見分けたり、簡単な色を区別することができ、視覚と触覚の両方を活用した学習を行っている。</p> <p>本書は、自分の体のはたらきについて興味・関心を引き出す図書である。見えない自分の体の各部分のイメージをつかみ、様々なはたらきをしていることを理解できると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 教師と一緒にページをめくって見る。</p> <p>(2) 見出しの大きな文字を読む。</p> <p>(3) 絵と自分の体を触りながら、体のはたらきについて知る。</p> <p>(4) 人体模型も併せて活用し、体の中のイメージをさらに深める。</p> <p>(5) 骨や臓器などの絵を描き、そのはたらきについて学習プリントにまとめる。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	2
--------	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名		いろいろ ばあ	発 行 者 名	えほんの杜		
図 書 の 内 容		<p>本書は、色の三原色である赤色、青色、黄色の絵の具の絵が、縦開きでページをめくって楽しめる絵本である。絵の具から出るいろいろな形が、白色の背景とのコントラストではっきりとしており、親しみやすい絵の構成となっている。赤色、青色、黄色の絵の具から始まり、赤色と青色で紫色、黄色と青色で緑色、赤色と黄色で橙色と、単色から混色へと展開の工夫が施されている。また、絵の具から飛び出す形が、「ばあ!」「ぼっ」「ぶにゅ!」などの言葉で表現されており、心地良いリズムで読むことができる。</p>				
対 象 学 年		小学部1年	障がい種別	知的障がい	該当教科	図画工作
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、知的発達段階が2歳程度のダウン症児である。身辺自立が未確立な部分がある。簡単な言葉での指示で行動することができる。発語はあるが、言葉が不明瞭で身振りで自分の思い伝えようとする。好きな絵本を教師と一緒に読み、絵を指差したり、声を出したりする。</p> <p>本書を活用して、絵の具遊びや色水遊びへと遊びの幅の広がりが期待できる。また、絵の具から出た形や「ばあ!」「ぶにゅ!」「によろ～ん」という表現の面白さなどの発語を促す要素もあり、学習の効果が期待できると考える。</p>				
	指 導 の 概 略	<p>(1) 絵に注目しながら、教師一緒に読む。</p> <p>(2) 「これは何色かな」と問い、色の名称を復唱する。</p> <p>(3) 「ばあ!」「ぼっ」「ぶにゅ!」などのフレーズを真似る。</p> <p>(4) 絵本の内容に合わせて、実際に赤色、青色、黄色の絵の具を画用紙に出してみる。</p> <p>(5) 実際に、紫色、緑色、橙色の混色をしながら、色遊びをする。</p> <p>(6) 赤色、青色、黄色の絵の具を使い、好きな絵を描く。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	3
----	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	さわって学べる算数図鑑	発行者名	学研		
図書の内容	<p>本書は、足し算、引き算、かけ算、割り算、分数、図形等、算数に関する様々なことが仕掛けを通して体感できる内容になっている。足し算、引き算では、数を縦と横の数直線など目に見えるかたちで表したり、計算の仕方に加えて実感として理解できる仕掛けになっている。図形では、実際に組み立てることができ、視覚や触覚などを使い感覚で理解できる仕掛けになっている。さらに、チャレンジクイズによるまとめの力試しもできる内容である。</p> <p>また、全ての文字にルビがふってあり、読みやすい図書である。</p>				
対象学年	中学部1年	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	数学
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、聴覚障がいがあり、知的発達が8歳程度である。聴力は左右とも90dBであり、補聴器をつけた状態で相手と対面し、大人がゆっくり大きな声ではっきり話す言葉が聞き取れる。学習については、小学校2年生程度の学力が身についている。日常生活動作はほぼ自立しており、生活力がある。今ある聴力を含め、五感を通し実体験として学んだことは、理解しやすく着実に身につけている。</p> <p>本書は体験型・感覚型であり、実際に組み立てたり、クイズにチャレンジしたりしながら、教師や友達と楽しんで取り組むことができる。また、分数では「ケーキを分ける」など実際の生活場面をイメージしながら取り組むことができると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 「たしたり ひいたり」を学習する。</p> <p>(2) 「形いろいろ」を学習する。</p> <p>(3) 「へんしん いろんな形」を学習する。</p> <p>(4) 「さかさまの計算」を学習する。</p> <p>(5) 「分数であそぼう」を生活に身近な具体物を使って学習する。</p> <p>(6) 「分ける！」を生活に身近な具体物を使って学習する。</p> <p>(7) クイズに挑戦する。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	4
----	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	どんどんめくってはっけん！ ちきゅうのふしぎ		発行者名	学研	
図書の内容	<p>本書は、「地球はどんな場所があるか」「地球の中はどうなっているか」「地球にはどんな生き物がいるか」などが分かる仕掛け絵本である。ページごとの仕掛けをめくすることで、楽しみながら地球のことを知ることができる。さらに、地球の内部や地球の自然活動、生き物の様子なども分かりやすく示されており、自分たちが住んでいる地球を通じて、自然や科学に興味・関心をもてる内容である。</p> <p>また、本書はイラストが多く、文の説明が平仮名と片仮名で書かれているため、内容が読み取りやすい。</p>				
対象学年	中学部1年(重複学級)	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	理科
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、聴力が左右とも 95dB の聴覚障がいと軽度の知的障がいを併せ有している。基本的な生活習慣は、ほぼ確立している。小学校中学年の学習を行っており、新しい発見がある学習や友達と一緒に取り組む学習に意欲を示している。</p> <p>本書で扱われている地球の内側や自然活動、生き物の様子について仕掛けを動かしながら学習することで、自然や生き物について関心をもって学習し、理解を深めることにつながると考える。また、本書を通じて知り得たことを発表したり、教師や友達と一緒に調べ学習をしたりするなどの授業展開ができると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 興味・関心のある項目のページを教師と一緒に読む。</p> <p>(2) 初めて知ったことや驚いたことを発表する。</p> <p>(3) 「地球」のページの仕掛けをめくり、分かったことをまとめる。</p> <p>(4) 「川」のページの仕掛けをめくり、知っていることを発表する。</p> <p>(5) 「森」のページの仕掛けをめくり、生き物について調べる。</p> <p>(6) 「海」のページの仕掛けをめくり、海に住む生き物について知る。</p> <p>(7) 自分の好きなページの仕掛けをめくり、教師や友達とクイズを出し合う。</p> <p>(8) 地球のことで学んだことをまとめ、発表する。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	5
----	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	めくってはっけん！にほんちずえほん	発行者名	学研		
図書の内容	<p>本書は、日本各地の名物や観光地、歴史、動植物などが分かる仕掛け絵本である。ページごとに日本の地域が示されており、仕掛けをめくると、日本各地の自然や文化、食べ物などの詳しい説明が書かれている。また、各ページには、「さがしてみよう！」という指令が書かれており、「日本各地の一番」を楽しみながら探すことができる内容となっている。</p> <p>さらに、本書は、調べ学習にも活用することができたり、行ってみたい場所を調べることができたりするなど、日本のことを知るきっかけとなる絵本である。</p>				
対象学年	中学部3年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科	社会
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、入退院を繰り返す慢性疾患であり、知的障がいを併せ有している。病状の変化に伴い、生活場面や学習場面に活動制限はあるものの、調べ学習や実験、見学などの体験的な学習に意欲的に取り組んでいる。また、友達との会話と一緒に休み時間を過ごすことを楽しみにしている生徒である。</p> <p>生徒が仕掛けをめくすることで「日本の地図」や「日本各地の一番」の学習ができ、各地の自然や文化、名物についての理解を深めることができる。また、本書を用いて、教師や友達と一緒にクイズを出し合ったり、調べ学習をしたりするなど、様々な授業が展開できると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) すべての仕掛けに触れて、めくる。</p> <p>(2) 自分の住んでいる地域「東北」のページを開き、「岩手県」を探す。</p> <p>(3) 「岩手県」の文化や名物について調べ、教師や友達とクイズ大会をする。</p> <p>(4) 「東北」地方で他の県について調べ、好きな物を探す。</p> <p>(5) 他の地方のページから好きな物を探し、教師や友達に紹介する。</p> <p>(6) 新聞やニュースなどの話題から関連した都道府県について調べる。</p> <p>(7) これから行ってみたい所の文化や名物、特色について調べ、まとめる。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	6
--------	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名		おてつだいの絵本		発 行 者 名		金の星社	
図 書 の 内 容		<p>本書は、掃除や洗濯、食事の準備などお手伝いのやり方について、丁寧にイラストを使って紹介している。各項目の始めにイラストを見て「やってみたいお手伝い探し」があり、興味をもちながら読み進めていくことができる。また、お手伝いのやり方の他にテーブルや窓の「基本のふきかた」や掃除機をかける時の「ここに注意！」など気をつけるポイントも書かれている。加えて、各項目の最後には「お手伝いが好きになるヒント」としてコラムがあり、何のために掃除や片付け、洗濯、料理などをするのかが簡潔に分かりやすく書かれている。マナーとして知っておくべきことも盛り込まれた、お手伝いに進んで取り組みたくなる絵本である。</p>					
対 象 学 年		小学部5年(重複障害)	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	生活	
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、聴力が左右とも 95dB の聴覚障がいであり、知的障がいを併せ有している児童である。知的発達段階が5歳程度であるが、日常生活動作はほぼ自立しており、補聴器を活用してゆっくり大きな声で話せば大人の話す言葉を聞き取ることができる。学校生活では、担当する係活動に取り組むほかにも、お手伝いをしたがる様子が見られており、意欲を大切にできるお手伝いを増やしていきたいと考えている。</p> <p>本書と一緒に読み進めながら、やりたいお手伝いを聞いたり、普段の家庭での様子を聞いたりする中で、やりたいこと、できそうなことから始め、家庭とも連携をとりながら取り組んでいきたいと考える。できるお手伝いが増えることで、自分でできた達成感やほめられた嬉しさをたくさん味わわせていきたい。</p>					
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に読みながらやっているお手伝いを確認する。  (2) やっているお手伝いについて家庭と連携しながらできているか確認する。  (3) 自分でできそうな手伝いを考える。  (4) 自分でできそうな手伝いの仕方を確認する。  (5) お手伝いを学校の生活場面で実践する  (6) 家庭と連携しながら、できそうなお手伝いを増やす。</p>					

(記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。



## 一般図書選定の理由書

番号	7
----	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	じゃぶじゃぶ じゃぐちくん		発行者名	講談社	
図書の内容	<p>本書は、薄く軽量で持ちやすい絵本である。色使いが優しく、絵も大まかで見やすい。生活に密着した砂遊びセットやスニーカー、ぬいぐるみなどを児童が大好きな水で洗い、最後には手を洗っておやつを食べる内容になっている。蛇口から出てくる水の色と、洗った後のぬいぐるみの表情から気持ちよさを感じることができる。また、文中に「じゃあ じゃあ じゃぶ じゃぶ」「じゃぶ じゃぶ じゃぶ じゃぶ」も繰り返し出てきて、読み進むのが楽しく、繰り返し読みたくなる絵本である。</p>				
対象学年	小学部1年	障がい種別	知的障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、知的発達段階が2歳程度の知的障がいの児童である。「すわって」「ちようだい」「置いて」などの簡単な指示を理解して動いたり、「まんま（ご飯）」「ママ（おかあさん）」と話したりできる。また、絵本を好み、絵本のフレーズに合わせて体を動かしたり、同じフレーズを繰り返し読むよう教師に要求したりする様子が見られる。水遊びは好きだが、遊び始めると次の活動への切り替えが難しい。</p> <p>食事の前に手を洗うことが未定着な本児に対し、本児の好きな繰り返しのフレーズ「じゃあ じゃあ じゃぶ じゃぶ」を用いながら楽しく手洗いができるようにし、手洗いの定着を図りたいと考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 教師と一緒に読む。  (2) 手洗いのページのばい菌に注目し、教師が洗う真似をするのを見る。  (3) 手洗いのページのばい菌に注目し、教師と一緒に洗う真似をする。  (4) 絵本を読み、フレーズを言いながら教師と一緒に手を洗う。  (5) 絵本を読み、フレーズを言いながら教師の見守りのもと手を洗う。  (6) 食事の前に、フレーズを言いながら手を洗う。  (7) お楽しみ会など実際の会食の前に手を洗うなど実際の場面で実践する。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の（ ）は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	8
----	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名		なぞる絵本 いま どんな きもち？	発行者名	講談社		
図書の内容		<p>本書は、「喜び」「悲しみ」「怒り」「恐れ」「心配」などの感情が1ページずつ動物のイラストで描かれている絵本である。動物のイラストに凹凸の部分があり、指で動物の表情をなぞることができる。読み手の声を聞きながら、一緒に指で形をなぞることで、自分の気持ちを理解するきっかけとなり、自分から身近な人へ働きかけていくことの意識付けができる。また、他者からの働きかけに対して応えようとする意思表示にもつながると考える。</p>				
対象学年		小学部2年(重複学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、先天性による両上肢、下肢機能障がいであり、知的障がいを併せ有している。身辺処理は全介助であるが、自分で手を伸ばして物に触ろうとする様子が見られてきている。また、周囲の人の表情をよく見ている様子が増えてきており、自分の快不快を表情で示すことができるようになってきた。</p> <p>本書は、動物の表情が凹凸で示されているため、教師と一緒に本児が指でなぞりながら読むことで気持ちの理解についてのきっかけとなり、自分の気持ちを表現することにつながると考える。</p>				
	指導の概略	<p>(1) 教師と一緒に絵本を読む。  (2) 教師と一緒に絵本に指で触れる。  (3) 「喜び」の表情を「にこにこ」と言葉を添えて教師と一緒に指でなぞりながら読む。  (4) 「悲しみ」の表情を「しくしく」と言葉を添えて教師と一緒に指でなぞりながら読む。  (5) 「怒り」の表情を「かんかん」「ぷんぷん」と言葉を添えて教師と一緒に指でなぞりながら読む。  (6) 「恐れ」の表情を「びくびく」と言葉を添えて教師と一緒に指でなぞりながら読む。  (7) 「心配」の表情を「おどおど」と言葉を添えて教師と一緒に指でなぞりながら読む。  (8) 気持ち調べの時間を設定し、教師と一緒に今の気持ちを選ぶ。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

### 一般図書選定の理由書

番号	9
----	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	パンダなりきりたいそう		発行者名	講談社	
図書の内容	本書は、「チューリップ」や「バナナ」、「こま」、「飛行機」、「おにぎり」、「ロケット」、「ボール」の7種類に見立てた動作模倣を紹介している絵本である。7つの動きは、児童にとって身近な物であり、動きも分かりやすい。そのため、児童が絵本を読みながら楽しく身体を動かすことができる。また、本書は文字情報が少なく、パンダの動作に注目しやすい絵本である。				
対象学年	小学部3年生	障がい種別	知的障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	本児は、知的発達が3歳程度の知的障がいの児童である。言葉の指示に合わせた動作模倣は難しいが、音や音楽に合わせて身体を動かすことは好きである。 本書で扱われている動作模倣を教師と一緒に取り組むことで、絵本の挿絵を手がかりにして動作模倣ができるようになると考える。さらに、動作模倣に繰り返し取り組むことで、教師や友達の様子に注目し、歯磨きや手洗いなどの日常生活の動作模倣につながると考える。			
	指導の概略	(1) 教師の読み聞かせを聞く。 (2) 教師の動作模倣を見る。 (3) 絵本の挿絵を見ながら、1つ1つの動作模倣を教師と一緒に取り組む。 (4) 複数の動作模倣に取り組む。 (5) 「チューリップ」や「ひこうきブンブン」などの歌に合わせて動作模倣に取り組む。 (6) 教師や友達の様子に注目を促す。 (7) 生活につながる日常動作の模倣を取り入れて取り組む。			

(記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	10
----	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	おはなしデコボコえほん さんびきのこぶた		発行者名	小学館	
図書の内容	本書は、紙面に凸凹があり、触って楽しめる絵本である。親しみのある「さんびきのこぶた」に登場する、家や煙突、レンガなどの形を触ってイメージしながら、ストーリーを繰り返し確かめ、楽しむことができる内容である。また、わらの家は黄色、草原は緑色、熱い鍋は赤色で示されており、色のもつイメージにも広げることができる内容となっている。ページも厚く、めくりやすいので、一人で読む楽しさも味わうことができる絵本である。				
対象学年	小学部2年(重複学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、両眼で0.03程度と推測される弱視の児童である。知的障がいを併せ有しており、知的発達年齢は2歳半程度である。保有する視覚を活用した生活を送っているが、学習場面では、見ることに併せて、触って確かめながら学習を進めている。絵本にも興味をもつようになり、見る時は視距離を約5cmに近づけて見ている。</p> <p>本書を活用することで、話の内容に沿って指先で線や形を触りながら、想像力を膨らませることが期待される。また、絵もシンプルなので、本児にとって目を近づけて見て楽しむことができると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 教師の読み聞かせを聞く。  (2) 自分でページをめくって読む。  (3) 家やレンガ、鍋などの形を触りながら、読み聞かせを聞く。  (4) おおかみが息を吹く「ふーふー」、おおかみが鍋に落ちる「ドボン」のフレーズを教師と一緒に言う。  (5) 「一番上のこぶたは何の家を建てたのかな」「次は何の家かな」の問いに答える。  (6) 家の模型やレンガ、鍋の実物を活用し、物語の内容のイメージを深める。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	11
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	デコボコえほん あか あお きいろ		発 行 者 名	小学館	
図 書 の 内 容	本書は「色」をテーマに、単純な形が凸凹飛び出していて、触って楽しめる図書である。「りんごの赤」「太陽のオレンジ色」「葉っぱの緑」などの色が登場し、その形を触って、繰り返し活用できる内容になっている。色の面積も大きく、視力の弱い児童にとっても親しみやすい絵本となっている。基本的な色の名前とそれを象徴する事物が、シンプルに示されている。				
対 象 学 年	小学部3年(重複学級)	障 が い 種 別	視覚障がい	該 当 教 科	図 画 工 作
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	本児は、視力が0.02の弱視で、知的な遅れを伴っている。言葉でのコミュニケーションはやや難しいが、「お家」「学校」「お母さん」「ご飯」などの言葉は理解し、話すことができる。教師の読み聞かせが好きで、絵本に興味をもっている。また、好きな食べ物やおもちゃに自分から手を伸ばして、食べたり、遊んだりする。 本書を活用して、色の名前とその事物を結びつけることによって、語彙の広がりを図りたい。また、色への関心を引き出し、色遊びや絵の具遊びへと学習を展開していきたいと考える。			
	指 導 の 概 略	(1) 教師と一緒に、「赤」「黄色」「黒」などと読む。 (2) 形を触り、その名前と色を言う。 (3) 絵本の内容に合わせて、色紙や色画用紙で色を確かめる。 (4) 絵本の内容に合わせて、りんごやオレンジ、電球の実物を活用し、イメージを広げる。 (5) 絵本の内容に合わせた形の画用紙に、指絵の具やクレヨンで色付けをする。			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	12
----	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	デコボコえほん くねくね!		発行者名	小学館	
図書の内容	<p>本書は、ページの凸凹に指を置いて「トントントン!」「ジグザグジグザグ」と読み聞かせのリズムに乗って動かして遊ぶ工夫が施されている。右の指、左の指と交互に動かしてみたり、同時に動かしてみたりと、アレンジしながら活用することができる。線や形の凹み加減も適度で、触り心地も良い。繰り返し取り組む中で、スムーズな手指の操作、両手の協応が図られ、触ることや線をたどることの基本的な経験の積み重ねができる内容となっている。</p>				
対象学年	小学部5年(重複学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、光覚を有する盲児であり、知的発達が2歳程度である。興味のある音が出る絵本や、光遊びが好きで、自分から手を出して触ることができる。物を持つたり、握ったり、押したり、引っ張ったりする手指の動きも、身に付きつつある。初めて触る物には消極的であるが、繰り返し経験したことについては、手を出して触ろうとする様子が増えてきている。</p> <p>本書では、利き手だけではなく、両手を使っての動きや、終点と始点を変えての指の動き、さらには「ぐるぐる」「ジグザグ」などの動きを表す言葉のイメージのつかむことができると考える。触察の基本となる手指の動きを学習するために、効果的な図書であると考えます。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 凸凹の溝に指を置き、教師と一緒に動かす。  (2) 自分で右の指で動かす。  (3) 自分で左の指で動かす。  (4) 両手で、同時に指を動かす。  (5) 最初は右の指で、次は左の指でと、かわりばんこに動かす。  (6) 始点と終点を変え、指を動かす。  (7) 「くねくね」「ぐるぐる」「ジグザグ」のページを逆さにして、指でたどる。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	13
----	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	かずをかぞえる		発行者名	玉川大学出版部	
図書の内容	<p>本書は、1～100までの数の概念を美しくわかりやすい絵で表現している。10までの数は指と絵、10～100は絵とブロックで表わしており、何も無い「0」も絵で表している。合わせて「6」を「5のまとまり」と「ばら1」、「11」を「10のまとまり」と「ばら1」とブロックで表しており、数の概念を理解する過程でつまづきがちな、「5」と「10」をまとまりとして捉える考え方も分かりやすく表している。</p>				
対象学年	中学部1年	障がい種別	知的障がい	該当教科	数学
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は知的発達7歳程度の知的障がいの生徒である。小学校では特別支援学級で学び、中学部になってから特別支援学校で学んでいる生徒である。1から60くらいまでの数唱ができ、和が20以下の足し算について、指を使ったり、数字に対応した丸印を書いたりするなどして数えたしをすることができる。</p> <p>本書は「5のまとまり」と「10のまとまり」を絵とともにブロックで示しており、目で見てもまとまりとしてとらえやすい。また、指差しながら数えたり、ブロックなどを操作したりすることを繰り返すことにより「5」や「10」の概念を理解していくことができると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 数を数えながら教師と一緒に読む。</p> <p>(2) 「5のまとまり」「10のまとまり」に注目して教師と一緒に読む。</p> <p>(3) 10までの数について絵本を見ながら具体物(ブロック)を並べ、数を数える。</p> <p>(4) 10までの数について「5のまとまり」を使ってブロックで並べ、正解を絵本で確認する。</p> <p>(5) 100までの数について本を見ながら具体物(ブロック)を並べ、数を数える。</p> <p>(6) 100までの数について「10のまとまり」を使ってブロックを並べ、正解を絵本で確認する。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	14
----	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	かわいいてんとうむし	発行者名	大日本絵画		
図書の内容	<p>本書は、立体的な「てんとうむし」が付いた穴あき仕掛け絵本である。10匹の「てんとうむし」が、ページが進むごとに色々な昆虫や動物に出会って、1匹ずつ消えていくストーリーとなっている。「てんとうむし」が立体的になっているため、手で触りながら1から10までの数についての数唱や数の大小の学習ができる図書である。また、ページの右には「てんとうむし」が描かれており、左には穴が開いている。「てんとうむし」と「穴」は、数に対応しているため、触感の違いを確かめながら学習することができる絵本である。</p>				
対象学年	小学部4年(重複学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	算数
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、両下肢に機能障がいがあり、知的発達が3歳程度の知的障がいを併せ有している児童である。また、日常生活では車椅子を使用しているが、手指の緊張が強く一人で筆記用具を持って学習することが難しい児童である。そのため、教師と一緒に具体物を操作したり、手を伸ばして触感覚を感じたりする学習を行っている。数の概念としては、1から5までの数唱をすることができるようになってきており、10までの数唱や数の大小に取り組んでいく段階であると考えている。</p> <p>本書を用いることで、自分から本の凹凸や触感の違いに気付き、数の学習につながるのではないかと考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 教師による読み聞かせを聞く。  (2) ページを順番に手や指で触り、触感の違いを確認する。  (3) ページごとのてんとうむしの数の違いを確認する。  (4) 1から10までの数唱をしながら絵本に触る。  (5) 10から1までの数唱をしながら絵本に触る。  (6) 「てんとうむしが1匹増えると…」と問いかけながら絵本に触れる。  (7) 「てんとうむしが1匹消えると…」と問いかけながら絵本に触れる。  (8) 丸い具体物を操作して1から10の数唱や数の大小の理解を深める。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。



## 一般図書選定の理由書

番号	15
----	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	ジャングルのおと		発行者名	大日本絵画	
図書の内容	<p>本書は、10 ページからなり、各ページに一カ所ずつ音が出る仕掛け絵本である。凹みの部分に指や手が触れることで「とり」「とら」「かえる」「ぞう」「オランウータン」「ひょう」の鳴き声、雨や水しぶきの音が出る仕掛けとなっている。鳴る音も穏やかな音であり、児童にとっても聞きやすい音である。また、穴が開いていたり、凸凹があったりと、触った感触を楽しむこともできる絵本である。</p> <p>児童の触覚と聴覚に働きかけることができ、生き物や自然の音をイメージしやすい内容となっている。</p>				
対象学年	小学部1年生(重複学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、肢体不自由に知的障がいを併せ有している。日常生活では、全般において支援が必要である。家族や身近な教師の声を聞いたり、手で物に触ったりすることで表情が和らぐことがある。絵本の読み聞かせをすることで、目を大きく開けたり、身体を左右に動かしたりすることがあり、本児が心地よいと感じている時には、発声がみられる。</p> <p>本書の読み聞かせをするときに、教師が児童に音や感触への期待をもてるように強弱をつけて読んだり、問いかけながら読み聞かせをしたりすることで、本児の表情の豊かさを引き出し、生き物や自然のことに触れるきっかけ作りになると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 教師による読み聞かせを聞く。  (2) ページを順番に手や指で触り、音を確認する。  (3) 自分の好きな音や感触を探る。  (4) 音が出る仕掛けを教師と一緒に押す。  (5) 絵本の音を聞いて、音当てクイズ遊びを教師と一緒に楽しむ。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	16
----	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	くらしに役立つ 家庭	発行者名	東洋館		
図書の内容	<p>本書は、「家族とくらし」「食事と健康」「被服」「安全で快適な住まい」「ライフスタイルと環境」の5章で構成されている。</p> <p>まず、家庭での生活を振り返り、自分の身の回りのことや家族に役立つことはどのようなことかについて考える内容が示されている。次に、学校を卒業して社会人になった時、社会の一員として、自立した健康で安全な生活を送ることを学ぶ内容となっている。社会で主体的に生きていくための必要な基礎的な知識を写真やイラストが交えながら、分かりやすく掲載されている。また、各章の設問「エクササイズ」で、学習の深化を図ることができる図書である。</p>				
対象学年	中学部2年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科	職業・家庭
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、内臓疾患のため体調を崩すと入院が長期化しやすく、軽度の知的障がい併せ有している。小学校5年生程度の漢字の読み書きや計算ができ、社会科見学や実験、簡単な調理活動に意欲的に取り組んでいる。また、テレビやインターネットで知り得た情報をもとに、友達や教師との会話を楽しんでおり、社会への関心が伺える。</p> <p>本書を活用することで、自立するための基礎的な知識を得ることができ、自分自身のことについて深く考え、これから社会へひとり立ちするために、将来を見すえた学習に役立つと考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 現在の自分の生活に関連していて、興味・関心をもっている内容から学習を始める。</p> <p>(2) 調理や洗濯、清掃など、実生活につながる活動に取り組む。</p> <p>(3) 「エクササイズ」を活用しながら、自分自身の考えを深める。</p> <p>(4) 新聞やニュース、インターネットで、本生徒が目にする情報を活用した課題を取り上げ、その課題解決についての考えを学習プリントにまとめる。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	17
----	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	ことばあそび レストラン	発行者名	のら書店
図書の内容	<p>本書は、「あ・い・う・え・お」のリズムによって食べ物たちが次々に現れる愉快的言葉遊びの絵本である。「あいすくりーむ あさから あくび」「いきなりいばる いなりずし」と、心地良いリズムで読みながら、平仮名に親しむことができる内容となっている。短い文であり、音読や暗唱の学習にも活用しやすい。また、「ころっけ」「らーめん」「ほっとけーき」などの身近な食べ物のイラストが筆のタッチで描かれており、興味・関心を引き出す工夫が施されている絵本である。</p>		
対象学年	小学部4年	障がい種別	知的障がい 該当教科 国語
選定の理由	<p>児童生徒の実態</p> <p>本児は、知的発達段階が4歳程度の児童である。日常生活では、部分的な支援を必要とするが、簡単な言葉での指示を理解して行動することができる。絵本を見ることが好きで、知っている食べ物や動物、乗り物の名前を話している。平仮名に興味をもっており、50音の半分程度の読み書きができる。</p> <p>食べ物の名前が題材となっている本書をとおして、平仮名のさらなる習得を図ることができと考える。書くこと、読むことで言葉の理解を促し、言葉でのコミュニケーションの幅も広げていきたいと考える。</p> <p>指導の概略</p> <p>(1) 教師と一緒に文を読む。  (2) 文と絵の部分を確認する。  (3) 教師と一緒に、文字を指でたどりながら読む。  (4) 一人で文を読む。  (5) 文字や文を視写する。  (6) 好きな文を選び、読んだり、視写したりする。  (7) 好きな食べ物で、文を作り、読んだり、書いたり、絵を描いたりする。  (8) みんなの前で発表する。</p>		

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	18
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名		とけいのほん①	発 行 者 名		福音館	
図 書 の 内 容		<p>本書は、薄くて軽量で持ちやすい絵本である。登場人物の「ちび」と「のっぽ」の時計の針が数字とタイルを荷台に載せて散歩に出かける所から物語が始まる。話の中には「どんぐりぼうや」や「ひかりのぼうや」などかわいいキャラクターが登場する。「のっぽ」が1周するごとに1時間ずつ進むこと、6まで進むと「はん」ということ、その時の「ちび」の針の読み方も分かりやすく説明しており、時間を意識し始める時期には有効な絵本である。内容はストーリー仕立てになっており、イメージを膨らませながら楽しく読み進めていくことができる。</p>				
対 象 学 年		小学部5年	障がい種別	知的障がい	該当教科	算数
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は知的発達が5歳程度のダウン症の児童である。20までの数唱ができるようになっており、筆圧は弱い。10までの数字のなぞり書きがほぼできる。平仮名50音は拾い読みができるようになってきている。絵本の読み聞かせは好きである。動作が緩やかで、着替えや授業の準備など、ある程度時間を意識した学校生活を送ることが課題である。</p> <p>本書の目を引く絵が本児の興味をそそると予想されるので、「ちび」と「のっぽ」の針を作るなど、具体物を用いて絵本と同じ様に時計の上に針を置くなどの工夫を加えながら活用したいと考える。本児の課題解決に向けたきっかけになることを期待したい。</p>				
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に読む。            (2) 絵本の時計の文字盤や「ちび」、「のっぽ」に注目しながら読む。            (3) 「ちび」や「のっぽ」の針がさしている数字に注目しながら「〇じ」「〇じはん」と確認しながら読む。            (4) 絵本の中の「いまんじ」の問いを教師と一緒に考える。            (5) 絵本の中の「いまんじ」の問いに答える。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	19
----	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名	しごとばシリーズ⑤ もっと・しごとば		発行者名	ブロンズ新社	
図書の内容	<p>本書は、人気のある職業から普段目にすることができない特殊な仕事まで、幅広い9つの職業が盛り込まれている。中には東日本大震災大津波の被災地でもある気仙沼の仕事も紹介されている。各仕事の1・2ページ目には仕事をする職場の風景がリアルな絵で描かれており、全ての物にルビ付きで名前がついていて分かりやすい。3・4ページ目には仕事で使用する道具、仕事の内容についてイラストで順序よく描かれており、将来の夢を広げる一助となる図書である。</p>				
対象学年	中学部2年	障がい種別	知的障がい	該当教科	職業・家庭
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は知的発達が7歳程度の知的障がいの生徒である。中学校の1年生までは特別支援学級で学び、2年生になり特別支援学校に転校してきた。小学校1年生程度の漢字の読み書きや計算ができる。興味が移りやすい特性をもつが、物作りが好きで、作業学習には集中して取り組んでいる。将来はパン屋さんになりたいと話している。</p> <p>本書は最近話題の職業から日本の伝統的な職業まで幅広い仕事に掲載されており、本生徒にとっては様々な仕事があることを知ったり、興味・関心を広げたりすることができる。また、興味のある仕事につくために、今、自分がすべきことを教師と一緒に考え、確認するなど今の生活を振り返ることへもつながると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 本書を順に教師と一緒に読む。  (2) 本の中から興味のある職業を探す。  (3) 興味のある職業について、教師と一緒に調べてまとめる。  (4) 興味のある仕事につくために必要なことについて、教師と一緒に考えまとめる。  (5) 興味のある仕事につくために、自分が頑張ることについて、教師と一緒に考えまとめる。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	20
----	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名		おやこであそぼ あかまる どれかな？	発行者名	ポプラ社		
図書の内容		<p>本書は、「いろ」「かたち」「かず」「おおきさ」「りょう」に関する内容で構成されている。「あかいろ どれかな?」「しかくは どれかな?」などのシンプルな問いかけの他に、「ほかにも聞いてみましょう」という質問例があり、児童の実態に合わせて様々な質問ができるので、児童が興味・関心をもっている身近なものに関連させやすい。また、取り扱う色も適当であり、登場してくるそれぞれの形に表情があるなど、児童が視線を向けやすく親しみやすい絵本である。</p>				
対象学年		小学部1年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科	算数
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が3歳程度で、慢性疾患のため長期入院をしている児童である。身辺自立は確立しておらず、日常生活において一部支援を必要とする。大人との関りを好み、自分の要求などを身振り等で伝えながらコミュニケーションを図っている。また、お絵かきが好きで、クレヨンを握り持ちし、自由に絵を描いて楽しんでおり、色や形に関心をもつようになってきた。</p> <p>登場してくる様々な形がとても可愛らしく本児が好みそうなものであることから、色や形の学習をすることは本児にとって興味のもてる学習内容であり、意欲的に取り組むことが期待できる。身近なものに関連させながら、形や大きさ、数へと発展させた学習へとつなげていきたい。</p>				
	指導の概略	<p>(1) 絵本を自由に見る。  (2) 教師による読み聞かせを聞く。  (3) 「いろ」や「かたち」について、絵本にある問いかけに答えながら学習する。  (4) 「いろ」や「かたち」について、生活の中にあるものを探してみる。  (5) 「かず」や「おおきさ」について、絵本にある問いかけに答えながら学習する。  (6) 「かず」や「おおきさ」について、生活の中にあるものを探してみる。  (7) 生活場面と結びつけながら繰り返し取り組み、理解を深める。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。